

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-232286

(P2004-232286A)

(43) 公開日 平成16年8月19日(2004.8.19)

| (51) Int. Cl. ⁷ | F I | テーマコード (参考) |
|----------------------------|----------------|-------------|
| E 0 4 F 15/16 | E O 4 F 15/16 | 2 E 2 2 0 |
| C 0 9 J 7/02 | C O 9 J 7/02 | 4 J 0 0 4 |
| C 0 9 J 201/00 | C O 9 J 201/00 | 4 J 0 4 0 |

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 6 頁)

| | | | |
|-----------|----------------------------|----------|--|
| (21) 出願番号 | 特願2003-20790 (P2003-20790) | (71) 出願人 | 000133076 株式会社タジマ |
| (22) 出願日 | 平成15年1月29日 (2003.1.29) | | 東京都足立区宮城1丁目25番1号 |
| | | (74) 代理人 | 100094466 弁理士 友松 英爾 |
| | | (74) 代理人 | 100116481 弁理士 岡本 利郎 |
| | | (72) 発明者 | 松井 健至 東京都足立区宮城1丁目25番1号 株式 会社タジマ内 |
| | | (72) 発明者 | 安藤 彰宏 東京都足立区宮城1丁目25番1号 株式 会社タジマ内 |

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 床材施工用両面粘着テープ、床材および床材施工方法

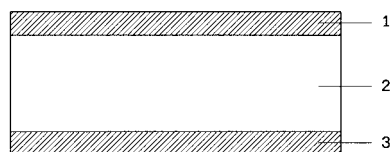
(57) 【要約】

【課題】床材の配置変更や汚れた床材のみの交換を容易とし、使用済みタイルのリサイクルを容易とする両面粘着テープの提供、該両面粘着テープを貼着した床材および該両面粘着テープを用いた床材施工方法の提供。

【解決手段】床材を両面粘着テープで床下地に施工する床材施工方法において、両面粘着テープとして下記要件を満足する両面粘着テープを使用することを特徴とする床材施工方法。

床材側粘着剤層1の強度 < 下地側粘着剤層3の強度

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

床材を床下地に施工する際に使用する両面粘着テープが、下記の要件を満足するものであることを特徴とする床材施工用両面粘着テープ。

床材側粘着剤層強度 < 下地側粘着剤層強度

【請求項 2】

床材の片面に請求項 1 記載の両面粘着テープを該両面粘着テープの床材側の粘着剤層を介して貼着し下地側粘着剤層には剥離紙が粘着されたものであることを特徴とする床材。

【請求項 3】

床材を両面粘着テープで床下地に施工する床材施工方法において、両面粘着テープとして請求項 1 記載の両面粘着テープを使用することを特徴とする床材施工方法。 10

【請求項 4】

床材を両面粘着テープで床下地に施工する床材施工方法において、床材として請求項 2 記載の床材を使用することを特徴とする床材施工方法。

【請求項 5】

あらかじめ両面粘着テープを下地側に貼着し、次いで、その上に床材を配置する床材施工方法において、両面粘着テープとして請求項 1 記載の両面粘着テープを使用することを特徴とする床材施工方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

20

【発明の属する技術分野】

本発明は、床材施工用両面粘着テープ、該テープを用いた床材および前記両面粘着テープあるいは床材を用いた床材施工方法に関する。

【0002】

【従来技術】

本出願前、床材、例えばカーペットタイルの裏面に両面粘着テープを貼着したカーペットタイルは知られている（特許文献 1 参照）。しかしながら、この床材は施工後時間の経過とともに床下地とタイルとが剥離しにくくなること、剥離後に床材裏面に一部付着したままの粘着テープを処理しなければならないなどの問題があった。

又、本出願人は、先に床材を床下地に施工する際に使用する両面粘着テープが、床材側粘着剤層強度 > 下地側粘着剤層強度 30

を満足する床材施工用両面粘着テープについて提案した（特許文献 2 参照）。

そして、この両面粘着テープを用いて床材を床下地に施工した場合には、床材を床下地より剥離する際に、下地面に粘着材層が残存しないという長所を有していたが、一方、長尺のこの両面粘着テープを用いて床材を固定した場合、1 枚の床材を床下地より剥離する必要が生じたときに、その両面粘着テープ上に配置された固定タイル全てが剥離されるという欠点があった。そのため、特に頻繁に床材の配置変更が要求される場所とか、汚れた床材のみの変更には適していなかった。特に、置敷床タイルの一部を固定するのにこの両面粘着床タイルを用いた場合、該固定タイルの交換、移動にそのタイルのみ両面粘着テープが付着しているため、作業が煩雑となった。又、この両面粘着テープを用いた使用済みタイルには粘着テープが付着しているので、リサイクルするためにはタイルと両面粘着テープの分離作業を必要とした。 40

【0003】

【特許文献 1】

特公平 6 - 68205 号公報

【特許文献 2】

特開平 11 - 256118 号公報

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、床材の配置変更や汚れた床材のみの交換を容易とし、使用済みタイルのリサイ 50

クルを容易とする両面粘着テープの提供、該両面粘着テープを貼着した床材および該両面粘着テープを用いた床材施工方法を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明の第1は、床材を床下地に施工する際に使用する両面粘着テープが、下記の要件を満足するものであることを特徴とする床材施工用両面粘着テープに関する。

床材側粘着剤層強度 < 下地側粘着剤層強度

本発明の第2は、床材の片面に請求項1記載の両面粘着テープを該両面粘着テープの床材側の粘着剤層を介して貼着し下地側粘着剤層には剥離紙が粘着されたものであることを特徴とする床材に関する。

10

本発明の第3は、床材を両面粘着テープで床下地に施工する床材施工方法において、両面粘着テープとして請求項1記載の両面粘着テープを使用することを特徴とする床材施工方法に関する。

本発明の第4は、床材を両面粘着テープで床下地に施工する床材施工方法において、床材として請求項2記載の床材を使用することを特徴とする床材施工方法に関する。

本発明の第5は、あらかじめ両面粘着テープを下地側に貼着し、次いで、その上に床材を配置する床材施工方法において、両面粘着テープとして請求項1記載の両面粘着テープを使用することを特徴とする床材施工方法に関する。

【0006】

前記下地側粘着剤層強度とは、本発明の両面粘着テープを下地に接着させ固定し、該粘着テープを床下地から剥離するときの粘着強度をいい、また床材側粘着剤層強度とは、前記粘着テープを床材に貼着し、粘着テープを床材から剥離するときの粘着強度をいう。

20

前記下地側粘着剤層強度は通常1500～5000g/2.5cm程度、又、床材側粘着剤層強度は通常250～800g/2.5cm程度であり、更には床材側粘着剤層強度が下地側粘着剤層強度の20～80%のものが好ましい。

前記床材側粘着剤層強度および下地側粘着剤層強度の測定は、幅2.5cm、長さ20cmの両面粘着テープを試験資料としてJISA5536に規定される引張試験機を用い20、RH60%において引張速度20cm/minで180°剥離試験を行い、剥離荷重の最高値を求めて行った。

【0007】

30

本発明で使用する両面粘着テープは、クラフト紙、布（不織布を含む）、セロファン、ビニル、ポリエステル、ガラスクロス等の幅広いシートを基材として、該基材の両面に下記のような粘着剤を前記のような特性を満足するように塗布乾燥し、その後前記シートを適切な幅、例えば2～5cm程度に切断して、離型紙を挟んでロール状に巻き取って製造される。

通常、前記ロール状物は床材を床下地に施工する際に適当な形状あるいはサイズに加工して用いることができる。

また、粘着剤透過性の基材を使用し、床下地側粘着剤層を形成する側の基材片面より粘着剤を含浸させ該側に粘着剤をより多く付着させることにより、粘着強度に差をもたせることができる。

40

【0008】

本発明で使用する粘着剤層としては、天然ゴム、SBR、ブチルゴム等を主成分とするゴム系粘着剤層、アクリル系粘着剤（溶剤型、エマルジョン型）層あるいはホットメルト系粘着剤層などが挙げられるが、中でも環境上、被着体汚染防止等の理由からアクリルエマルジョン系粘着剤層が好ましい。

床材は、通常表面仕上げ層とバック層とからなり、表面仕上げ層は、合成樹脂製であってもカーペット製であっても良い。通常の床仕上げ材の表面層として使用されているものであれば特に制限は無い。合成樹脂製シートは表面に透明層や、裏面に発泡層を積層したもので良い。

カーペット製の表面仕上げ層としては、基布に繊維性のパイルを植設したカーペット原反

50

そのまま、あるいはその裏面に合成樹脂層の目止めや裏打ち層を設けたものが挙げられる。

バックング層は、通常天然または合成ゴム層あるいは合成樹脂層からなる。

床材の大きさは、寸法が30～100cm角、好ましくは40～60cm角、厚みが2～12mm、好ましくは4～8mmのものが一般的である。ただし、これらの数値は本発明を何ら限定するものではない。

【0009】

この床材施工用両面粘着テープは、あらかじめ床材のバックング層側に床材側粘着剤層が接するように貼着し、下地床材側粘着剤層側には離型紙を貼ることにより、梱包、輸送等の間に床材同士の接合を阻止することができる。

10

施工時にはこの床材の離型紙を除去しつつ、基準線（部屋の中心線に沿って床タイルを並べたときの床タイルと余り寸法を調整するために中心線からずらして引かれた床タイルを敷き始めるときの基準とする線）から順次敷き詰めていくことができる。

又、基準線に沿って一部この両面粘着テープを有する床材を貼着固定し、他の部分を置き敷き用床材で敷き詰めることができる。

【0010】

他の方法として、あらかじめ、両面粘着テープを床下地に下地側粘着剤層を持って貼着し、次いで床材側粘着剤層上の剥離紙を除去して床材を貼着固定化する方法がある。

具体的には、両面粘着テープを基準線に沿って貼着し、その上に配置されるべき床材を貼着する。この両面粘着テープは、例えば、5～10cmの幅を有するテープ状物とする。

20

粘着剤を付与された両面粘着テープの両面を、あらかじめ、例えばポリエチレンフィルム、又はシリコン離型紙のような剥離性テープでもって保護しておき、施工時に剥離性テープを除去しつつ基準線に沿って配置されるべき床材を固定し得る位置に両面粘着テープを貼着することが好ましい。次いで、両面粘着テープ上に床材を固定し、他の床材を室内部分全面にわたり置き敷きにより敷設することができる。

施工現場において、前記ロール状物を例えばテープ形状に切断し、該切断両面粘着テープを使用して床材の裏面に適宜間隔のストライプ形状に貼り、離型紙を剥がして床下地に貼着し、床材を固定する。ただし、床材に両面粘着テープを貼着する場合前記ストライプ形状に限られるものではなく、点線形状、格子形状等であっても良い。

なお、壁際周囲は両面粘着テープを用いて壁際周囲の床材を貼着固定することが好ましい。

30

【0011】

この施工方法によれば、施工現場までは床材と両面粘着テープとは完全に分離されているので、複数の床材を裏面同士向かい合わせて1つの容器に収納させて保管あるいは輸送が可能となり、また表面と裏面を対向させて梱包することもでき、包装上の制約がない。この結果、あらかじめ粘着材層を付与した床材を表面同士、あるいは表面と裏面を向かい合わせて1つの容器に収納させ、保管あるいは輸送する場合には前記裏面同士間、あるいは表面と裏面間に剥離紙あるいは保護紙等を使用する必要が無い。

【0012】

【実施例】

以下に実施例を挙げて本発明を説明するが、本発明はこれにより何ら限定されるものではない。

40

【0013】

実施例1

天然ゴムを主成分とする天然ゴム系粘着剤を不織布基材の下地側に塗布し、下地側粘着層を形成した。この塗布層の前記測定試験に基づく粘着強度は2000g/25mmであった。

前記塗布面とは反対側の基材の塗布面に前記塗布層の粘着強度より低い400g/25mmの粘着強度の天然ゴム系粘着剤を塗布して床材側粘着層とし、両面粘着テープを製造した。

50

【 0 0 1 4 】

実施例 2

2 - エチルヘキシルアクリレートを主共重合成分とするアクリルポリマーエマルジョン型粘着剤を、ポリエステル製不織布の床下地側に塗布した。この粘着剤は前記不織布基材を透過して前記塗布面とは反対側の床材側にも粘着層が形成された。床材側粘着材層および床下地側粘着材層の前記測定法による粘着強度は、それぞれ異なるものであった。

【 0 0 1 5 】

実施例 3

基材がPVCであり、サイズが50×50cmで正方形のカーペットタイルを前記実施例1の両面粘着テープのロール状物をサイズが2×48cmで線状形状に切断したものを用いて床下地に貼着した。前記の切断両面粘着テープは床材にストライプ状に、中央および両端に貼着した。前記床下地に貼着したカーペットタイルを床下地から剥離したところ、カーペットタイルのみ剥離され、床下地面には両面粘着テープが残った。

10

【 0 0 1 6 】

【 効果 】

本発明により、床材の配置変更や汚れた床材のみの交換を容易とし、使用済みタイルのリサイクルを容易とする両面粘着テープの提供、該両面粘着テープを貼着した床材および該両面粘着テープを用いた床材施工方法を提供することができた。

【 図面の簡単な説明 】

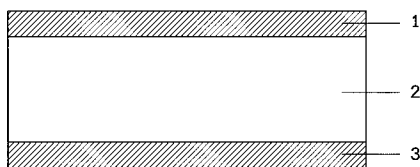
【 図 1 】 本発明の床材施工用両面粘着テープの模式的断面図である。

20

【 符号の説明 】

- 1 床材側粘着剤層
- 2 基材
- 3 下地側粘着剤層

【 図 1 】



フロントページの続き

F ターム(参考) 2E220 AA29 AA47 AA51 AC03 BA01 BA16 BC06 CA47 DA02 DB09
EA11 GA02X GA22X GA25X GA27X GB28Z GB32Z GB33Z GB34Z GB35Z
GB36Z GB39X GB39Z GB42Z GB48Z
4J004 AA04 AA05 AA06 AA10 AB01 AB03 CA02 CA04 CA06 CB01
CB02 CB03 CC02 DA02 DA04 EA05 FA08
4J040 CA011 CA081 DA141 DF001 JA09 JB01 JB09 MA09 MA10 MB02
NA12 PA23